

カワラヒワ *Chloris sinica* によるソメイヨシノ花芽の採食

鈴木 弘行

キーワード：カワラヒワ，ソメイヨシノ，花芽採食，開花不良，千葉県

はじめに：

ソメイヨシノ *Cerasus × yedoensis* 'Somei-yoshino' は江戸時代にエドヒガン *Cerasus spachiana* とオオシマザクラ *Cerasus speciosa* が関与して誕生したとされ(大原 2009)，北海道から九州まで広く植栽され，開花観測の対象となっている。ソメイヨシノは花を觀賞するサクラの代表であり，ソメイヨシノの開花を多くの人が楽しみにしているため，季節の話題としてニュースでも取り上げられる。しかし，しばしば鳥類による採食被害が起こることが知られており，ウソ *Pyrrhula pyrrhula* による花芽の採食が報告されている。(鈴木 2016)。花芽の採食が多い場合はソメイヨシノの花が著しく少ない開花不良となる(鈴木 2016)。

今回，千葉県成田市と横芝光町において，カワラヒワ *Chloris sinica* によるソメイヨシノの花芽の採食とその影響としての開花不良を観察したので報告する。

観察場所：

カワラヒワの花芽の採食による，ソメイヨシノの開花不良を確認したのは次の二か所である。

- ① 千葉県成田市押畑小橋川沿い (35° 48'30. 2"N 140° 18'45. 0"E)
- ② 千葉県横芝光町富下栗山川沿い (35° 40'36. 8"N 140° 28'49. 1"E)

観察方法：

成田市ではソメイヨシノの冬芽期である2017年2月13日，2月28日，2018年2月14日にカワラヒワによる花芽の採食状況を確認し，開花期の2017年4月4日と2018年4月12日に開花状況の観察を行った。

横芝光町では冬芽期である2018年2月14日に観

察を行った。開花期には，2017年4月の状況が撮影された写真を確認した。観察には8倍の双眼鏡を使用した。また，適宜カメラによる撮影を行った。

調査結果：

① 成田市押畑小橋川沿い

2017年2月13日に訪れたところ，ソメイヨシノの花芽が食べられていた(図1)。地面には多くの芽鱗片が落ちており，鳥類による採食跡であると推定された(図2)。この時，およそ50羽のカワラヒワの群れがソメイヨシノ並木で観察された。しかし，警戒心が強く，近くで観察することができなかった。2月28日に訪れた時にはカワラヒワのおよそ30羽の群れを確認し，その内の数羽が枝先に移動し，花芽(又は葉芽)を嘴で枝よりもぎ取り，もぎ取った花芽(又は葉芽)を嘴に咥え暫く上下の嘴に挟んで転がすようにして採食する行動を確認した。当地には約30本のソメイヨシノが列植されている。開花期の観察では，交通量・人通りの多い，県道近くの数本(写真手前)は開花していたが，その他のソメイヨシノにはほとんど花が見られなかった(図3)。多く採食されたソメイヨシノは人の行き来が少ない場所で，地上近くの花芽まで採食されており，ほとんど開花が見られない深刻な状況であった。状況は2017年も2018年もほぼ同様であった。開花不良のソメイヨシノには葉芽の芽吹きが確認された(図4)。

② 横芝光町富下栗山川沿い

2018年2月14日に訪れたところ，ソメイヨシノの花芽が食べられていた。地面には多くの芽鱗片が落ちていたのは，成田市の状況と同様であった。暫く待っていると20羽ほどのカワラヒワが飛来し，その内の数羽が枝先より花芽(又は葉芽)をもぎ取り採食するのを確認した(図5)。2017年春の開花状況は写真提供を受けて確認したが，地上近くの花芽まで採食されて，ほとんど開花が見られないソメイヨシノがあった(図6)。

考察：

サクラの花芽を採食する鳥類としてはウソが知られている。サクラの種類によっても、ウソに食べられやすいものとそうでないものがあり、特にソメイヨシノとエドヒガンが食べられやすいことが知られている(鈴木ほか 2016)。

近年では、2012-2013年の冬にウソの飛来が多く、各地でサクラの開花不良が話題になった(鈴木2016)。2013年の開花不良は千葉県でも深刻であったが、原因は特定されていない(石谷 2013 諏訪原 2013)。筆者も東京都江戸川区の葛西臨海公園でソメイヨシノの花芽を食べるウソの小群を観察している(鈴木 2013)。しかし、葛西臨海公園では開花不良を感じさせる程の状況にはならなかった。これはウソの個体数が十数羽であり、広い園内に多くのソメイヨシノが植栽されているため、花芽を食べられたものの、多くの花芽も残っていたためと思われる。開花不良と感ぜられるほどの状況になるには、相当数の花芽が採食されないと起こらないと推測される。

カワラヒワは四季を通じて主に草の種や樹木の種を食べることが多い(叶内ら 2014)が、ソメイヨシノの花芽を食べることは知られていなかった。

今回報告した二か所では1月には花芽の採食は始まっており、何度かカワラヒワの群れがソメイヨシノに止まっているのが確認されていたが、ウソは確認されていない(大木一男、石橋 亨、吉岡賢人、布施貞雄 私信)。直接花芽を食べているかどうかの確認はできていないが、本稿の観察情報と併せると、2017年と2018年に本調査地で観察された明らかな開花不良は、カワラヒワによって起こされたと推測される。

ウソは花芽と葉芽を識別して選好的に食べていることが明らかになっている(沼沢 1989)。サクラの葉芽をあまり食べないことから、サクラの光合成生産に大きなダメージを与えることはないとされる(鈴木ら 2016)。今回確認した開花不良のソメイヨシノには葉芽の十分な芽吹きが確認されたことから(図5)、カワラヒワも同様に花芽を選好的に食べていると考えられる。

国内には亜種カワラヒワ *C. s. minor* が周年生息し、亜種オオカワラヒワ *C. s. kawarahiba* が主に冬鳥として観察される(日本鳥学会 2012)。オオカワラヒワは野外観察においては、体が大きく、三列風切の外縁の白色部が幅広い傾向にあることで見分けられる(叶

内ら 2014)が、羽色においては中間的な個体も多い(小田谷 2018)。今回、観察されたカワラヒワの亜種は同定できていない。

謝辞：

情報提供や写真提供を頂いた、日本樹木医会千葉県支部の大木一男氏、石橋亨氏、吉岡賢人氏、布施貞雄氏に感謝いたします。また、我孫子市鳥の博物館の小田谷嘉弥氏、1名の匿名の査読者には全般について詳細に助言をいただきました。ここに深く感謝の意を表します。

引用文献：

- 石谷栄次 2013. 2013年の千葉県下におけるソメイヨシノの開花不良(1)ー開花状況ー. 一般社団法人日本樹木医会千葉県支部年報第4号: 19-20.
- 大原隆明 2009. サクラハンドブック. 文一総合出版, 東京.
- 小田谷嘉弥 2018. アトリ科モノグラフ カワラヒワ Birder 32(2): 21
- 叶内拓哉・安部直哉・上田秀雄 2014. 新版日本の野鳥. 山と溪谷社, 東京.
- 日本鳥学会目録編集委員会 2012. 日本鳥類目録改定第7版, 日本鳥学会, 三田.
- 沼沢篤 1989. ウソのサクラ花芽への選好性について. Strix8: 169-172.
- 諏訪原幸広 2013. 君津周辺における2013年サクラ開花状況について. 一般社団法人日本樹木医会千葉県支部年報(4): 23-24.
- 鈴木祥悟 2016. 野鳥のウソによるサクラ花芽の摂食. 森林防疫 Vol.65No.1[No.712]: 28-31.
- 鈴木祥悟・島田卓哉・八木橋勉・八木貴信 2016. ウソが選好するサクラの種類, 品種が示す花芽の特徴. 東北森林科学会誌 21(1): 1-5.
- 鈴木弘行 2013. 葛西臨海公園でソメイヨシノの花芽を食べるウソを観察～ソメイヨシノの開花不良との因果関係の一考察～. 一般社団法人日本樹木医会千葉県支部年報(4): 25-26.



図1. 花芽の被害状況 (2017年2月13日).
Fig. 1. Damage situation of flower buds. 13 February 2017.



図2. 地面の芽鱗片 (2017年2月13日).
Fig. 2. Bud scales on the ground. 13 February 2017.



図3. 開花状況 (2017年4月12日).
Fig. 3. Flowering situation. 12 April 2017.



図4. 開花不良のソメイヨシノ (2017年4月12日).
Fig. 4. Somei-yoshino with poor flowering. 13 April 2017.



図5. 花芽を摂食するカワラヒワ (2018年2月14日).
Fig. 5. Oriental Greenfinch to feed flower buds. 13 February 2018.



図6. 2017年4月の開花状況(2017年4月, 撮影:布施貞雄).
Fig. 6. Flowering conditions in April 2017. Photographed by Sadao Fuse on April 2017.

Observation report on flower bud feeding of Somei-yoshino by Oriental Greenfinch

Hiroyuki Suzuki

Japan Tree Doctors Association, Chiba Prefecture Branch

Key Words: Oriental Greenfinch, Somei-yoshino, flower,bud feeding, poor flowering, Chiba Prefecture.